

学長の業績評価書

令和5年10月31日

奈良県立医科大学学長選考会議

奈良県立医科大学学長の業績評価に関する規程(以下「業績評価規程」という。)に基づき細井裕司学長の業績評価を行いましたので、その結果を公表します。

【評価方法】

業績評価規程及び奈良県立医科大学学長の業績評価に関する手順書に基づき、下記評価項目について実施

- (1)学長選考基準に照らした学長としての資質の評価
- (2)学長候補者の時点で選考会議に提出した所信表明等に記載されている各項目の達成状況
- (3)年度計画に係る奈良県公立大学法人奈良県立医科大学評価委員会による評価結果を踏まえた業績評価
- (4)本学監事による監査結果を踏まえた業績評価
- (5)学長が提出した自己評価書に対する学内意見聴取の結果、及び学長選考会議が行う学長面談によって聴取した意見の評価

【評価結果】

上記(1)～(5)の資料等を参考に所信表明の達成状況、年度計画及び中期計画の実施状況を確認したところ、奈良県立医科大学の学長として、その職責を十分に果たし、大学運営・改革に努力し着実に成果を挙げているものと評価できる。

一方、選考会議による学長面談及び学内意見聴取において、以下の2項目に関しては特に要望があったところであり、今後の発展的取組に期待するものである。

- ・教育 医学科前期日程試験における本学独自の学科試験を小論文に変更したことにより学生の多様化が期待されるところであるが、「優秀で多様な人材を得る」の項目については引き続き注力すること。
- ・総合評価 他学に類を見ないMBT活動など、今後の継続が望まれる事業については、学長の任期後を見据えたロードマップも必要と思われることから、後継者の育成に尽力すること。

【参考】

評価経緯

- 9月 1日(金) 業績評価実施通知
- 9月15日(金) 学内意見聴取開始
- 10月17日(火) 学長面談の実施、評価の審議
- 10月中旬 評価結果の内容調整
- 10月31日(火) 評価結果の公表

【学長選考会議委員】(50音順) ◎は、学長選考会議議長

- 池田 康夫 根津育英会武蔵学園 学園長
- 宇都宮 弘和 理事(総務・経営担当)
- 大畑 建治 大阪公立大学 特任教授
- ◎川副 浩平 関西医科大学総合医療センター 病院長付特別顧問
- 吉川 公彦 副学長
- 嶋 緑倫 副学長
- 栢井 和也 副理事長
- 松村 理司 医療法人社団洛和会 洛和会ヘルスケアシステム 洛和会本部 参与